

大島特産園芸作物における生産振興技術対策

【研究概要】

主要品目である、ブバルディア、アシタバ等の生産振興のための試験研究を行う。

①アシタバの養液栽培技術の開発では、「東京エコポニック」を改変した養液栽培システムを使用することで、露地栽培と比較し夏期の収量が高まり年間総収量も高くなる。しかし、システムに関わるコストを回収するのは難しい。育苗には「ニッテン EE 培土」を用いると慣行培土に比べ葉数等が増加する。赤色 LED を用いると他色 LED に比べ葉数や茎径が増加する傾向がある。

②地域特産野菜等の病害虫の発生状況を調査した。2022 年春の幼虫発生密度は、利島において、ハスオビエダシャクは減少、トビモンオオエダシャクは横ばいであった。大島においてはエダシャク類の発生は少なかったが、一方でチャドクガの発生が増加した。